

木曾川町連区 地域づくり協議会だより

第7号

発行日：平成27年3月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会
一宮市木曾川町内割田一の通り27（木曾川町庁舎内） 電話：84-0005
メールアドレス k-chiiki@orihime.ne.jp

**** 地域づくり協議会活動総括 ****

木曾川町連区地域づくり協議会 事務局長 川合 俊雄

昨年4月に発足した「木曾川町連区地域づくり協議会」の活動は、この『地域づくり協議会だより』を第7号まで、発刊するに至りました。

この間、地域づくり協議会の役員会会議を5回、また部会（安全安心・活気・思いやり・広報）会議を12回開催しました。

安全安心部会	： 安全で安心して暮らせるまちづくり
活気部会	： 生涯健康で楽しく暮らし、世代間の連携と活力あふれるまちづくり
思いやり部会	： 世代を越えた住民間のふれあいと絆・地域福祉のまちづくり

これら3部会は、従来のような、地区が異なるだけの同じ目的を持つ団体の会議ではなく、目的の異なる団体の代表が、部会の目的（上記）に対し、何をどうすれば良いかを、検討するため構成された組織です。

したがって、部員間の問題意識に新鮮味があり、また、これまで常識と思っていた知識が「えっ〜と」思うような新たな見識を感じる、部会と成っています。

例えば、安全安心部会は、『区長会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会・公民館・児童育成協議会・老人クラブ連合会・消防団・小中学校長・小中学校PTA』といったように、種々の団体から構成されています。

まさに、世代間の連携・地域のふれあいなどの課題・対策を、同じテーブルで議論できるすばらしい部会であります。

各部会では、木曾川町のみんなが木曾川町に住んでいてよかったと思えるような、独自の施策を見出すため、知恵を絞っているところです。

地域づくり協議会では、部会での貴重な意見を、木曾川町連区へ提案し「協議会と連区」で、各町内会長並びに町内会の皆様のもとにお届けし、豊かで住みやすい地域づくりに寄与できれば幸いです。

唯一実現できた、特筆すべき事項としては、安全安心部会での積極的な活動が、昨年10月に木曾川西小学校で行われた「木曾川町連区防災訓練」に、大きく貢献できたことです。

この木曾川町連区防災訓練は、平成27年度は木曾川東小学校で、平成28年度は黒田小学校で実施する防災訓練の魁となりました。

まだまだ、皆様には地域づくり協議会の活動内容が、はっきり見えていないところが、多いかと思いますが、役員並びに部会員一団となって活動していますので、もう少しの間、長い目で見て下さい。



防災訓練

*** 今回は北黒田西部と東割田のお国自慢です ***

=== 交通利便性の光と影 ===

北黒田西部区長 神邊 博章

北黒田西部区は、11 町内会 1157 戸から成り、9 地区の中で真ん中に位置する大きさです。昔から交通の便に恵まれ、区の中にJR木曾川駅、名鉄黒田駅があります。名古屋・岐阜方面のアクセスが良いため、町内会員数も増加傾向にあります。



見染塚

このJR木曾川駅西口の公園内に「見染塚」の碑が建てられているのをご存知でしょうか？ 木曾川駅は明治19年に木曾川停車場として開業し、当時はここが終着駅でした。明治24年に正岡子規がこの停車場を訪れています。明治32年に発表した「旅」の中に、駅前の茶店で見染めた乙女への想いが綴られています。このエピソードを刻した「見染塚」、機会がありましたら、一度ご覧になってみてください。

区の東西、南北には、3本の県道が通り、便利な反面、交通渋滞や生活道路への進入・ゴミ捨て等は、区の悩みにもなっています。

岐阜街道(旧国道22号線)は、特に交通量が多く、交通戦争という言葉がマスコミに登場する昭和30年以降、交通事故の犠牲者が出ています。その慰霊のため、中小路信号交差点の北西の角に陶製の「厄除観音菩薩」が建てられました。(昭和37年) その観音さまも長年の風雨に晒され、破損が激しくなったため、現在は石像の観音さまに建て替えられています。この観音さまは、北黒田西部区の管理の下、月に2回供花をし、交通安全災害守護仏として見守っていただいています。

町内の方々にも、この場を通られる際、合掌して頂ければ、幸いに思います。

=== 八剣神社からの温故知新 ===

東割田区長 佐藤 伸二

東割田は、外割田を西割田と東割田にわけた386世帯といった最も小さな地域です。それゆえ、どこそこの誰々といった具合に、本当に地域の人々の顔がよく見える町内です



八剣神社

木曾川町史によれば、黒田の方面から新しく開田していったのが始まりで、黒田に近いほうから内割田、外割田とよばれ、その外割田をまた通称東割田・西割田とわかれ、小学校区も異にしています。東割田は明治25年ごろ外割田学校が廃止されて以来、黒田小学校区となっています。

外割田村は江戸時代から集落が東郷屋敷と西郷屋敷にわかれ、両屋敷の総氏神様として八剣宮があり、このお宮を中心に、東西割田共同で、神事を行っています。

秋祭には、五穀豊穡を祈り神輿や獅子をだし、子供会の鼓笛が元気に祭りを彩ります。初午大祭には、町内総出で餅を搗き、丸め、大祭準備をします。当日の炊き出しなど、町内の一体感が感じられるひと時もあります。

大祭前日の小餅がお宮の境内に並べられている様子は、当日の猛々しさとは違った、壮観さと厳かしさを感じます。子供会、町内会、婦人会、老人会、など3世代(あるいは4世代でそろって楽しめる行事が、今なおあるのは喜ばしいことではないでしょうか。

この神社には、川合玉堂画伯の扁額があります。先回、西割田のお国自慢にもあったように、玉堂氏の生誕の地ということもあって、昭和27年に修築された折、画伯の幼友達の方々の労により快諾いただき、添書とともに書をいただき、神社拜殿の正面に飾られたといわれています。その【八剣神社】の字体は「八」の字が鳥の雄雌を象徴し、文字を絵とし、絵を対画とし、表現されていると驚嘆されたとか。

この神社では熱田宮、秋葉宮、伏見稻荷、若宮稲、豊川稲荷をお参りでき、割田内に点在していたであろう、道祖神群も近くに観られます。古のこの地の人々の心が垣間見られるようです。

自治会としては、「東割田公民館」を場所も新たに新築し、多くの方が集まりやすいようになりました。区の自治会を中心に、ごみの回収・消火器訓練、歩け歩けなど他の区同様に、健康なシニアを目指した活動も盛んになっています。公民館を中心に、同じように子供たちも集える場所になってほしいと願います。

世帯分化が激しい昨今、もっとも小さなこの地区で温故知新の地でありたいと願います。